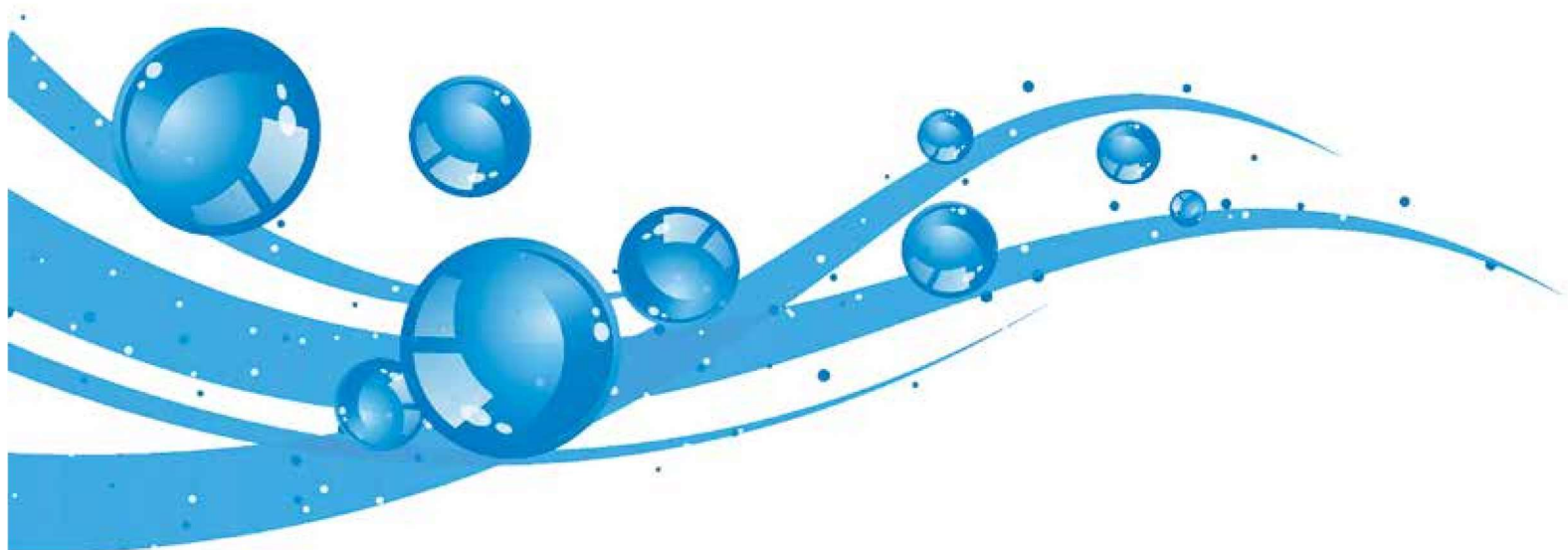




第 5 章

事業の評価

- 5.1 目標年度における重要業績評価指標(KPI)
- 5.2 経営指標
- 5.3 計画に対する事業評価

5.1 目標年度における重要業績評価指標(KPI)

実現方策の達成度を評価するために、KPI（Key Performance Indicators：重要業績評価指標）を設定しました。

本計画の計画期間満了時には、今回設定し直した目標を達成し、引き続きその状態を保つことができるように努めます。

あわせて、将来にわたりお客様に信頼されるライフラインとして、時代の変化に対応した水道事業の再構築を推進していきます。

表 5.1 目標年度における重要業績評価指標 (KPI)

重要業績評価指標 KPI	単位	H28指標値	R3決算	R10年度目標値	
				当初計画	見直し計画
有効率	%	91.4	93.0	93.4	93.9
有収率	%	89.0	90.8	91.1	91.4
管路の更新率	%	0.86	0.34	0.85	0.45
浄水施設の耐震化率	%	42.1	42.1	42.1	42.1
ポンプ所の耐震化率	%	91.0	94.2	94.2	94.2
配水池の耐震化率	%	33.8	49.0	52.8	49.4
管路の耐震管率	%	41.4	44.8	51.0	48.7
基幹管路の耐震管率	%	70.9	71.9	75.6	75.0
重要給水施設配水管路の耐震管率	%	54.0	55.6	69.7	58.0

令和3年度までの実績を基に、物価上昇や事業の重要度を考慮した結果から、主に管路の更新率に関連する目標値を下方修正しました。

5.2 経営指標

財政収支の視点から経営状況や課題等を把握するため、令和10年度(2028年度)の経営指標値の予測を見直しました。

表 5.2 目標年度における経営指標

視点		経営指標	単位	H28指標値	R3決算	R10年度指標(予測)値	
						当初計画	見直し計画
組織・人材 (ヒト)	生産性	職員一人当たり有収水量	m ³ /人	204,015	186,850	182,671	178,372
	投資の状況	企業債償還元金対減価償却費比率	%	51.1	39.3	31.0	29.2
資産 (モノ)	老朽化の状況	有形固定資産減価償却率	%	48.4	53.3	57.3	56.0
	資産の状況	有収水量1m ³ 当たり資産合計	円/m ³	3,227	3,373	3,452	3,460
	施設効率	施設利用率	%	59.6	57.1	52.9	53.7
財務 (カネ)	収益性	経常収支比率	%	119.5	114.3	102.9	101.6
	料金の状況	料金回収率	%	117.4	110.2	99.4	98.0
	財務の流動性	流動比率	%	287.2	306.7	243.0	339.2
	財務の安全性	自己資本構成比率	%	82.0	84.6	84.3	85.6

令和3年度までの実績を基に経営指標の予測を見直した結果、今後の水需要の減少が見込まれることにより、主に生産性、収益性、料金の状況に係る予測値が低下します。また、老朽化の状況、施設効率に係る予測値は当初計画に比べ改善します。

生産性は、職員数や人口の減少に強く影響されますが、強靱や持続等の基本目標を達成するためにも、老朽施設の更新や耐震性の向上等を実現方策として進めていく必要があります。また、継続して職員を確保する必要があります。

施設効率性については、施設統廃合の検討を行うことで向上に努めていきます。さらに、老朽化の状況については、アセットマネジメント等を取り入れた計画的な施設更新等を実施することにより、投資の平準化を図りながら、指標値の改善を目指します。また、収益性、料金の状況についても、令和11年度(2029年度)以降も見据えながら、収支バランスや料金制度の最適化の検討を進め、指標値の改善を目指します。

5.3 計画に対する事業評価

中・長期的な計画を推進していくためには、事業内容や進捗状況などの適切な管理と見直しが重要であり、本計画はPDCAにより、引き続き継続的な改善・見直しを図っていきます。

毎年実施スケジュールや重要業績評価指標（KPI）などを用いて、事業を総合的に評価しながら、PDCAにより、社会・経済情勢の変化や事業の進捗に合わせて、3～5年毎に適切な見直しや修正を図り、計画の実効性を高めていきます。

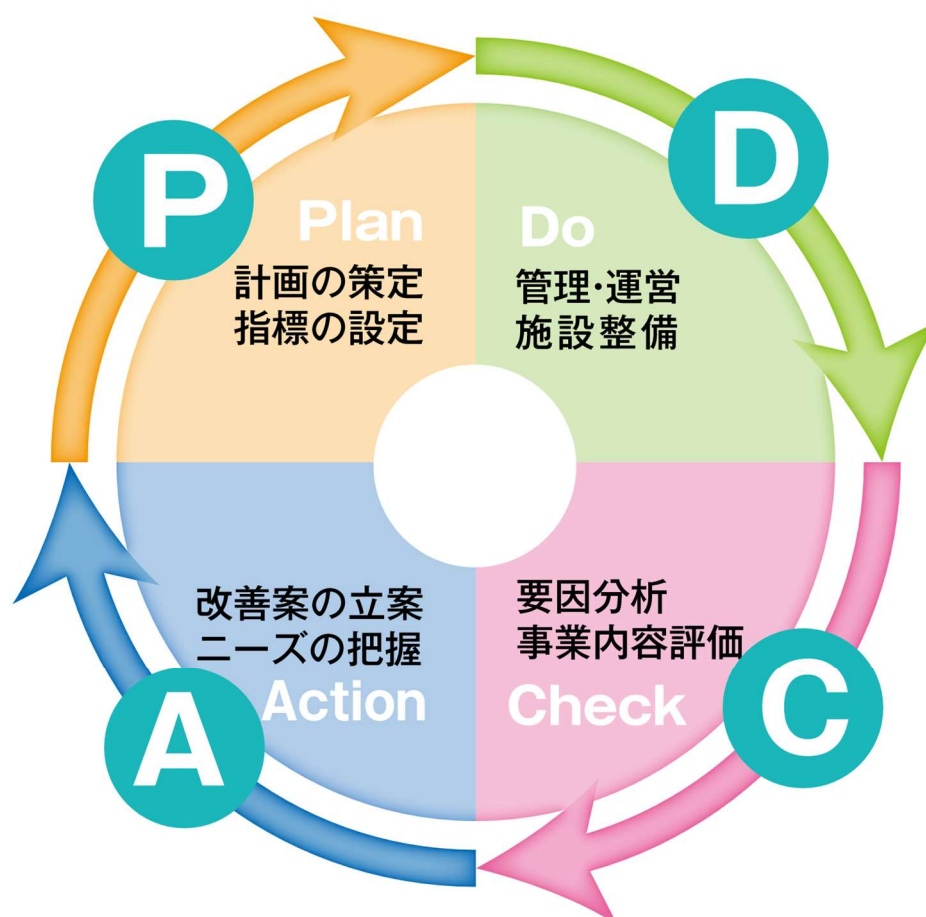


図 5.1 PDCAサイクル



〒039-1112 青森県八戸市南白山台 1-11-1
TEL.0178-70-7000(大代表) FAX.0178-70-7070